

B-9* 織物の汚れ付着に関する研究 (第1報)

大阪市立大学 田中 道一

〃 〃 〇広田 輝次

織物に対する汚れの粒子の付着について、主として光学顕微鏡並に電子顕微鏡で観察して、その付着の機構について明かにされるところがあった。

布の種類及汚れの種類によって付着の場所及その進行状態は著しく異なる。例えば構成する繊維材料及び表面状態の差異により、又汚れ付着の方法（標準汚染液を用いるような湿式状態又は乾式状態汚染）の差異により、それぞれ特徴ある付着状態を示すが、一般的に共通して汚れ粒子が微細な繊維の遊離末端部に集中する事、従って天然繊維の如く摩擦によりフィブリル化し易いものと、合成繊維の如くそうでないものとは、汚れの付着について著しく異なる事が見出された。

猶、上記乾式汚染のためには、特にこの目的に合するよう~~に~~に作られた装置を用いた。